

補助金レポート

1 木造建築のすすめとは？

補助金・融資制度を活用した木造建築をお考えの方へ

日本は、国土の約2/3を森林が占める世界でも有数の森林国です。

国内の森林の約4割がスギやヒノキなどの人工林であり、現在、その大部分が利用期を迎えています。

適正な森林整備を進めていくためには、国産材の積極的な利用を促進していくことが重要です。

一方、国内の木造建築では、1～2階建ての戸建てやアパートなど、従来、小規模な住宅建築に採用されてきましたが、特殊な設計・施工ノウハウが必要となる非住宅や4階以上の高層階住宅ではほとんど採用されてきませんでした。

今後、国産木材を有効に活用し、森林資源の循環利用を図ることが求められます。

地球温暖化防止や国土保全などといった森林の公益的機能の発揮、林業・木材産業の振興を通じた地域経済の活性化にもつながります。

また、「持続可能な開発目標(SDGs)」への対応、環境や社会、企業統治を重視する「ESG投資」の拡大などを背景に、環境や社会への貢献度が企業価値を左右する時代が訪れており、持続可能な木材利用を経営戦略に上手に取り込むことに注目が集まっています。

本レポートでは、木造建築をご計画の方向けに、お得な補助金・融資制度など、お役立ち情報をご紹介します。

公共施設のほか、医療・福祉施設、保育園・幼稚園、商業施設、工場・倉庫まで広く活用できる補助金・融資制度となっています。

ぜひ、本書をご活用いただき、木造建築にチャレンジしてみてくださいと幸いです。